

# 安城市総合計画審議会 第2分科会

## 第1分科会

No.	氏名	所属及び役職等
1	佐野 真紀	愛知教育大学 准教授
2	都築 豊彦	社会福祉協議会 理事
3	宮下 晴美	愛知県健康づくりリーダー連絡協議会 副会長
4	神谷 志穂	小中学校PTA連絡協議会 副会長
5	酒井 麻利子	株式会社キャッチネットワーク お客様満足創造本部
6	筒井 広治	ボランティア連絡協議会 会長
7	寺田 覚	町内会長連絡協議会 会長
8	戸田 こず恵	さんかく21・安城 幹事
9	近藤 裕己	
10	久恒 美香	教育委員

# ○第1分科会

【7月21日（金）】

- ・ 目指す都市像
- ・ 重点戦略
- ・ 分野別計画のうち  
子育て  
学校教育  
福祉

【8月22日（火）】

- ・ 分野別計画のうち  
市民参加と協働  
文化芸術  
健康・医療  
スポーツ  
生涯学習

## 第2分科会

No.	氏名	所属及び役職等
1	鈴木 健司	日本福祉大学経済学部 准教授
2	安田 孝美	名古屋大学大学院 情報学研究科・情報学部 教授
3	渥美 純一	あいち中央農業協同組合 代表理事組合長
4	河田 光司	碧海信用金庫 専務理事
5	柴田 知幸	連合愛知三河西地域協議会 副代表
6	富田 清治	安城商工会議所 副会頭
7	鳥居 卓司	明治用水土地改良区 事務局長
8	野村 直仁	青年会議所 理事長
9	山本 道生	
10	太田 良子	農業委員会 会長職務代理者

# ○第2分科会

【7月21日（金）】

- ・ 目指す都市像
- ・ 重点戦略
- ・ 分野別計画のうち  
農業  
商工業  
観光・交流

## 本日の審議事項

【8月24日（木）】

- ・ 分野別計画のうち  
都市基盤  
住環境  
防災・減災  
生活安全  
環境  
行財政運営

# 議題 (1)

## 第9次安城市総合計画 基本計画 (分野別計画)

## 12 都市基盤

しくみ

ちから

ばしよ

関連する主な SDGsの目標



この分野で目指すまちの姿

誰もが集い交流し、日々の生活を楽しむとともに、安全で快適な暮らしができるまちを目指します。

### 現状と課題

- ◆ 子育て世代等の定住ニーズを受け止めるための取り組みと、主要駅（安城駅、新安城駅、三河安城駅、桜井駅）周辺における人口集積を図ることが必要です。
- ◆ 三河安城駅周辺では、市民や来訪者の交流につながるまちづくりを推進するとともに、質の高い暮らしにつながる都市基盤整備を行うことで、まちの魅力を高めていく必要があります。
- ◆ リニア開業による経済効果を取り込むため、鉄道駅周辺のまちの魅力向上や主要道路の機能強化、空港、インターチェンジ、港湾等へのアクセス性の向上を図ることが必要です。
- ◆ 地域を支える自動車製造業などの経済活動や、快適な市民生活を支える幹線道路等の整備を進めるとともに、朝夕の通勤時間帯を中心とした道路や交差点、踏切周辺の混雑の解消を図ることが必要です。
- ◆ 社会情勢が変化する中においても、快適な市民生活を支える公共交通を中心とした移動手段を継続的に確保することが必要です。
- ◆ 今後、老朽化が進行していく橋梁などの道路施設は、市民生活や社会経済活動を支える重要な都市基盤であることから、適切な管理が必要です。

### 施策の取組

#### (1) 主要駅周辺の快適な交流空間の形成と活用

- ① 安城駅と三河安城駅周辺においては、さらなる利便性の向上と、誰もが交流できる憩いの空間を創出するため、都市基盤の再整備について検討を進めます。
- ② まちづくりの担い手と連携して公共的空間の積極的活用を図り、誰もが使いやすくなるまちの形成を推進します。
- ③ 市街地や交通の分断など、まちの課題解決を図るとともに新たな都市基盤整備を行うため、名鉄名古屋本線及び西尾線の鉄道高架化の実現に向けた調査研究を進めます。

#### (2) 安全かつ利便性の高い市街地の形成

- ① 安全で快適な住環境を提供するため、安城駅や三河安城駅周辺において土地区画整理事業を進めるとともに、土地の高度利用の促進を図ります。
- ② 土地区画整理事業と合わせて無電柱化を推進することで、市民の暮らしを守る災害に強いまちづくりを進めます。
- ③ 定住ニーズに応え、交通利便性の高い住宅地を提供するため、三河安城駅周辺において土地区画整理事業をはじめとした新たな土地活用について検討します。

#### (3) 生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共交通網の形成

- ① リニア開業に伴う経済効果等を取り込むため、新幹線駅や空港、インターチェンジ、港湾等への定時性やアクセス性を高める道路整備や公共交通網の充実強化を図ります。
- ② 地域や交通事業者と連携し、あなぐるバスの効率的な運行を検討するなど、これまでのサービス水準を維持しつつ、生活に密着した地域交通サービスの向上に努めます。
- ③ 主要地方道豊田安城線をはじめとする県道幹線道路の整備を推進する取組を継続するとともに、市道幹線道路の整備促進を図ります。
- ④ 交差点改良などの整備を進め、道路の円滑な通行を促します。
- ⑤ 橋梁など道路施設の長寿命化を図るとともに、点検・修繕・更新に係る維持管理費の平準化により予防保全を推進し、施設を適切に維持します。

### 成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
居住誘導区域の人口		
都市計画道路整備延長		

### 関連計画

- 第三次安城市都市計画マスタープラン
- 安城市地域公共交通計画

# 13 住環境



関連する主な SDGs の目標



## この分野で目指すまちの姿

市民に親しまれる公園や良好な水環境、暮らしやすさを実感できる居住環境が整った、人と自然がふれあい、快適に住み続けられるまちを目指します。

## 現状と課題

- ◆ 公園施設の老朽化が進むなか、子どもたちの安全を確保し、誰もが安心して利用できる公園にする必要があります。
- ◆ 多様化する市民ニーズに対応した公園のリニューアルが必要です。
- ◆ 身近な公園が不足している地域に、公園の整備を進めていく必要があります。
- ◆ 日常的な暮らしの中で心が癒される空間を創出するため、緑を増やす必要があります。
- ◆ 市民生活に欠かせない安全安心な水道水の安定供給を行っていますが、老朽化した水道施設が増加しており、適切な更新が必要です。また、水需要について将来予測を行い供給計画に反映していく必要があります。
- ◆ 下水道事業は整備の時代から維持管理の時代へと主体業務が移行するため、今後は計画的な修繕・改築を行う必要があります。
- ◆ 下水道を取り巻く環境は大きく変化しており、安定した経営を持続させる必要があります。
- ◆ 将来推計人口などを考慮した上で、市営住宅の将来ストック数（必要戸数）を明確にし、老朽化した住宅の雄替など整備計画を検討する必要があります。
- ◆ 狭い道路は車の通行や災害時の避難通路としての使用などにおいて問題があるため、4メートルの道路幅の確保が求められます。道路幅を確保するためには道路に接する両側敷地の協力を得る必要があります。
- ◆ 将来的な人口減少による空き家増加の懸念に対して、空き家対策の重要性がより一層増しています。
- ◆ 社会情勢の変化を踏まえ、安全で快適な自転車利用環境を整備する必要があります。

用語の説明

## 施策の取組

### (1) 市民に親しまれる公園づくり

- ① 公園施設の長寿命化を図るため、適切に修繕や更新を行います。
- ② 多様化する市民ニーズに対応した公園のリニューアルを行います。
- ③ 公園の質や利用者の利便性の向上を図るため、様々な事業手法を活用した公園の再整備を行います。
- ④ 誰もが使いやすい公園を目指して、ユニバーサルデザインに配慮した公園整備を進めます。
- ⑤ 身近な公園が不足している地域では、地域と連携して公園の整備を進めます。

### (2) 緑をつくる

- ① 公共施設や民有地の緑化を推進します。

### (3) 良好な水環境の実現

- ① 老朽化した水道施設の更新を行い、良質な水の安定供給を図ります。
- ② 下水道施設全体の中長期的な施設状態を予測しながら維持管理、改築を一体的に捉えて計画的・効率的に管理していきます。
- ③ 持続可能で健全な下水道事業経営を行います。

### (4) 市営住宅の更新・提供

- ① 老朽化した市営住宅について、適切な維持管理と雄替に向けた検討を行います。

### (5) 安全な住環境対策

- ① 狭い生活道路を広げ、安全で暮らしやすいまちづくりを進めます。
- ② 空き家の適切な管理、活用及び除却を促進し、衛生面、防犯面、防災面の安全性及び景観の向上を図ります。
- ③ 通勤、通学、買い物など、誰もが安全で快適な自転車利用環境の整備を推進します。

## 成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
公園施設の長寿命化値所数(累計)		
公園のリニューアル値所数(累計)		
下水道供用区域内の接続率		
2022年度に把握した適切に管理されていない戸建住宅の空き家件数		

## 関連計画

- 安城市緑の基本計画
- 安城市新水道ビジョン
- 安城市水道事業経営戦略
- 安城市下水道ビジョン
- 安城市下水道事業経営戦略
- 安城市汚水適正処理構想
- 安城市市営住宅長寿命化計画
- 安城市空き家対策計画
- 安城市自転車活用推進計画

# 14 防災・減災

しあ

ちから

ばしょ

関連する主なSDGsの目標



## この分野で目指すまちの姿

地震や風水害など様々な自然災害や致死率の高い感染症から生命や財産を守るため、自助、共助、公助力の連携による災害対応力の強化を推進し、災害に対して強さとしなやかさを備えたまちづくりを目指します。

## 現状と課題

- ◆ 「自助」、「共助」、「公助」の役割分担と相互連携のあり方を確認するため、住民、企業、NPO等が参加する実践的な防災訓練を実施する必要があります。
- ◆ 平時から防災・減災に関する情報配信を行い、災害に備えて準備等を促すとともに、災害発生後は個々の地域特性に応じた情報を適切に配信する必要があります。
- ◆ 多様なツールを活用した災害情報の配信や円滑な避難所運営などを行っていく必要があります。
- ◆ 乳幼児や高齢者、障害者などの多様な避難者に対応した備蓄物資の品目及び数量を適宜見直しするとともに、企業との連携により当該物資を迅速に確保できる体制を構築する必要があります。
- ◆ 避難施設内の使用場所の見直しや避難者受け入れ施設を拡充することにより、大規模災害が発生した際に多くの避難者を受け入れられるようにする必要があります。
- ◆ 大規模災害発生時における災害応急対策の拠点である防災拠点としての機能を果たすため、災害に強い庁舎が必要となります。
- ◆ 消防団や自主防災組織の活動を支援し、地域防災力を強化する必要があります。
- ◆ 災害発生後の減災を図るため、上下水道事業における業務継続の実効性を高める必要があります。
- ◆ 「共助」の意識を高めるため、地区の防災計画の策定や防災訓練等の住民主体の取組を継続して支援する必要があります。
- ◆ 地震や強風による被害を減らすため、住宅の耐震、耐風対策を促進する必要があります。
- ◆ 気候変動の影響により降水形態が変化し、水害が激甚化、頻発化しているため、市民、事業者及び行政が協働して雨水対策に取り組む必要があります。
- ◆ 強い感染力や致死率の高い感染症に対して、新型コロナウイルス感染症の対応で得た知識や経験を活かし、予防やまん延防止を図る必要があります。

用語の説明

## 施策の取組

### (1)災害時の対応・連携強化

- ① 自主防災組織や企業など共同で防災訓練を実施し、災害が発生した際における高学年市民の連携体制を強化します。
- ② デジタル防災技術を活用して地域特性に応じた情報をリアルタイムでプッシュ通知するなど、きめ細やかな災害情報の提供に取り組みます。
- ③ 多様な避難者に対応するため、民間事業者等との災害協定の締結を推進します。
- ④ 新たな避難所の確保や多様な避難者に対応した避難施設の環境整備を推進します。
- ⑤ 防災拠点としての機能を担う市役所庁舎について、建替えなどの整備に向けて検討を進めます。

### (2)消防団や自主防災組織の充実強化

- ① 消防団及び機能別消防団の人員確保と消防装備の充実に努め、地域防災力の向上を図ります。
- ② 防災リーダーの育成や自主防災組織の支援を充実し、「自助」、「共助」、「公助」の役割分担の周知と連携体制を構築します。

### (3)上下水道の防災・減災

- ① 災害に強いライフラインを確保するため、上下水道施設などの耐震化を図るとともに、避難所に応急給水施設の設置を進めます。
- ② 下水道施設の被害による二次災害などの社会的影響を最小限に抑制し、速やかな復旧を可能にするため、下水道事業における業務継続の災害時訓練を行い、減災を図ります。

### (4)防災・減災対策の普及促進

- ① 地域住民が主体となる地区防災計画の策定や防災訓練などを支援し、地域の防災活動の活性化や共助の意識を高めます。
- ② 住宅の耐震対策やブロック塀の倒壊防止対策など減災化に対する支援を継続して進めます。
- ③ 住宅の瓦屋根の耐風対策に対する支援を検討します。

### (5)雨水対策の推進

- ① 河川、調整池などの整備を推進し、維持管理体制及び機能を強化します。
- ② 水田貯留をはじめ、雨水流出抑制の取組を推進します。
- ③ みずから守るプログラムによる手作りハザードマップの作成や大雨行動訓練を実施します。

### (6)感染症対策

- ① 緊急時に迅速なまん延防止対策がとれるよう、関係機関との連携を進めます。
- ② 感染症に対する正しい知識や予防接種の啓発、接種を実施するなど、必要に応じて新たな接種体制を構築します。

## 成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
防災・減災対策に対する満足度		
上下水道の耐震化済の重要管路布設替率		
手作りハザードマップ作成地区数		

## 関連計画

- 安城市地域防災計画
- 安城市業務継続計画（地震災害対策編）
- 安城市水防計画
- 安城市地震対策アクションプラン
- 安城市国土強靱化地域計画
- 安城市建築物耐震改修促進計画
- 安城市新水道ビジョン
- 安城市水道事業経営戦略
- 第3次あいち地震対策アクションプラン
- 第2次安城市雨水マスタープラン

# 15 生活安全

しくみ

ちから

ばしょ

関連する主な SDGsの目標



この分野で目指すまちの姿

市民と行政が一体となり、犯罪や交通事故、消費者トラブル  
 が起きにくい環境づくりに取り組むことで、安全で安心に暮  
 らすことのできるまちを目指します。

## 現状と課題

- ◆ 全国的に、空き巣や窃盗だけでなく、特殊詐欺と呼ばれる犯罪が発生しています。そのため、犯罪を抑止する環境の整備と市民の防犯意識を高める必要があります。
- ◆ 子どもや高齢者が交通事故の加害者にも被害者にもならないよう、交通安全教育の推進等、警察と連携した取組が必要です。
- ◆ 児童生徒の安全を守るため、通学路の交通安全対策が求められています。
- ◆ 交通事故抑制のため交差点をはじめとした道路の交通安全対策が必要です。
- ◆ 都市環境の変化等により予測される交通量増加に対する対策が必要です。
- ◆ 高齢化の進展や成年年齢引下げ等により、消費生活トラブルが懸念される中、市民が消費生活に関する意識を高めトラブルを未然に防止することができるよう、消費生活に関する効果的な啓発や知識普及を図る取組が必要です。

## 施策の取組

### (1)暮らしの安全対策の推進

- ① 地域や警察、学校等と連携し、犯罪抑止に効果的な場所に防犯カメラや防犯灯を設置します。
- ② 特殊詐欺等多様化、巧妙化する犯罪を未然に抑止できるよう、警察等と連携して対策を講じ、市民の防犯意識の向上に努めます。
- ③ 地域や学校、職場で各種防犯教室・交通安全教室等を開催し、防犯や交通安全の意識向上に努めます。

### (2)交通安全対策の実施

- ① 交差点カラー塗装、灯火点滅板の設置等により、交通安全対策を図ります。
- ② 交差点等道路改良により、道路利用者の安全性向上と事故防止に努めます。
- ③ 交通量が増加し危険性が高い道路において、歩道等を路線的に改良することにより、安全性の向上を目指します。
- ④ 安城市通学路交通安全プログラムの取組方針に基づき、通学路の整備を行います。
- ⑤ 高齢者や子どもの交通安全に重点を置いた交通安全啓発活動を行います。
- ⑥ 自転車の安全利用に対する啓発活動を行います。

### (3)消費生活相談の強化

- ① 消費生活トラブルの未然防止と消費生活センターの認知向上のための啓発強化を図るとともに、相談件数の増加や相談内容の多様化・複雑化の状況に応じて、消費生活センターのより効果的・効率的な運営を検討します。

## 成果指標

指標	推定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
犯罪発生件数		
人身事故発生件数		

## 関連計画

●第11次安城市交通安全計画

●安城市通学路交通安全プログラム

## 16 環境

関連する主な SDGsの目標



### この分野で目指すまちの姿

市民一人ひとりが、学びや協働を通じて自然との共生・資源循環・脱炭素化など環境に対する高い意識を育むとともに、人と自然が共生する良好な環境が持続的に発展する社会を目指します。

### 現状と課題

- ◆ 大気・水などが良好で 安全・安心な生活環境を確保する必要があります。
- ◆ 持続可能な循環型社会の形成に向け、市民・事業者・市の三者が協働してごみの減量化・資源化に努める必要があります。
- ◆ ごみ処理経費が増加傾向にあることから、ごみの発生抑制の一層の推進を図り、将来にわたって安定的なごみ処理を継続する必要があります。
- ◆ ごみ焼却施設について、基幹的設備改良工事で施設を延命化しながら、焼却エネルギーによる「地域のエネルギーセンター」化を図り、併せて災害時の施設機能を確保する必要があります。
- ◆ 不燃ごみ破砕処理施設等について、老朽化や繁忙期の渋滞への対策、災害時の施設機能の確保のため、具体的な施設整備などの検討を進める必要があります。
- ◆ 2030年度温室効果ガス排出量46%削減（2013年度比）及び2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップを作成し、具体的・実効的な施策を立案し着実に進めていく必要があります。
- ◆ 良好な環境を次世代に引き継ぐため、市が率先して環境負荷の軽減に努め、自然環境の保全を図るとともに、市民、事業者などあらゆる主体が高い環境意識を持ち、環境配慮行動を実践する必要があります。

### 施策の取組

#### (1)生活環境保全

- ① 安全・安心な生活環境の向上のため、生活型公害の防止を図ります。

#### (2)資源循環・ごみ減量

- ① 4R活動（リデュース、リデュース、リユース、リサイクル）の推進と分別方法の周知により、プラスチック類や食品ロスをはじめとしたごみの減量と資源循環を一層推進するとともに、排出量に応じた負担の公平性などを引き続き検討します。
- ② 収集運搬・中間処理・最終処分 の適正な実施と、計画的な施設整備により、安全かつ安定的なごみ処理を引き続き行います。

#### (3)脱炭素社会の推進

- ① 省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーを活用したエネルギーの地産地消を進めることにより、地域におけるエネルギーの効率的な利用を促進し、温室効果ガスの削減を図ります。
- ② 次世代自動車や省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギー設備の導入など、市民や事業者の温室効果ガス削減に対する取組を支援します。

#### (4)環境学習・環境行動

- ① 市民一人ひとりの環境意識を高め、環境行動を促進するため、環境学習機会の提供、環境意識啓発、情報発信などを推進します。
- ② 市民団体などと協働で行う環境事業を推進するとともに、環境学習拠点「エコまち」での講座などを通して、多様な主体による環境活動の実践を支援します。

### 成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
市が実施している事務及び事業に関する温室効果ガス排出量の削減率(2013年度比)		
1人1日当たりのごみ排出量		

### 関連計画

- 第2次安城市環境基本計画
- 安城市ゼロカーボンシティ推進戦略
- 安城市一般廃棄物処理基本計画

## 行財政運営

(正)

### 1 災害時の対応・連携強化

効率的な行財政運営

#### (1)さらなる行政改革の推進

- ① 社会情勢が急速に変化し、今後も先を見通すことが難しい状況の中、あらゆる環境変化に対応できる持続可能な行財政運営を確立し、より質の高い行政サービスを効率的・効果的に提供するために、社会経済情勢を踏まえた行政改革を推進します。

#### (2)適正な予算執行と歳入確保

- ① 中長期的な財政規模の適正化のため、経営資源の適正配分と歳入確保に取り組むとともに、計画的な基金積立と適正な市債借入により、投資的事業の推進と持続可能で安定的な行財政運営を両立します。
- ② ふるさと納税制度や広告事業への取組を拡充し、地場産品の開拓や効果的なPRを実施することで、歳入の確保を図ります。

## 2 多様な主体との連携・協働

#### (1)公民連携のまちづくり

- ① 人口減少・少子高齢化、多様化する市民ニーズ、公共施設やインフラの老朽化などといった行政課題を解決し、将来にわたり市民サービスを高いレベルで維持するとともに、持続可能な行財政運営を行うため、学校や企業など多様な主体との関わりをつくり、公民連携による取組を推進します。

#### (2)広域連携の推進

- ① 交通網の整備や最近の情報通信手段の急速な発達・普及によって、市民の生活や活動が市域を超えて広がっている状況を踏まえ、衣浦東部広域行政圏協議会を始めた自治体や経済団体との連携により、広域的視点に立った行政サービスの提供を行います。

## 3 市民ニーズに応える人材育成と組織力の向上

#### (1)戦略的な人材確保と効果的な人材育成

- ① 人口減少や高齢化の進展、また多様化する市民ニーズに対して、中長期的な視点から行政課題を捉え、必要な施策を企画・立案することができる職員を育成するため、多様な人材の確保、働きやすい職場環境の整備、職員研修の充実などを通じて、職員の能力向上を図ります。
- ② 民間企業、NPO、教育機関などとの意見交換や人事交流を通じて、幅広い視点から市民サービスの向上を図ります。

#### (2)変化に対応する組織改革の実施

- ① 本市を取り巻く社会環境の変化に合わせて、新しい政策課題や市民ニーズに対応できるよう、柔軟に組織体制の見直しを行います。また、特定及び緊急の課題に対して、組織を横断して意思決定を図る必要がある場合は、プロジェクトチームを設置するなど、迅速かつ的確に対応します。

## 4 便利な暮らしを実現する行政DX

#### (1)市民の利便性向上と業務効率化に向けたデジタルの活用

- ① 市民の利便性向上のため、オンライン手続の拡充、キャッシュレス決済推進、SNSやマイナンバーカードの活用など、あらゆる面において行政サービスのDX化に関する取組を推進します。
- ② 誰もがデジタル化の利便性を実感できるよう、UI・UXを追求し、徹底した市民目線による行政のデジタル化に取り組むとともに、デジタルに不慣れな人への活用支援を進めます。
- ③ 窓口の待ち時間の短縮や手続の省力化を図るため、ワンストップサービスやプッシュ型サービスの充実などデジタル技術の効果的な活用策を模索し、市民がデジタル化の恩恵を享受できる環境整備を進めます。
- ④ AIを活用した新たなソリューションへの対応やペーパーレス化など、継続的に業務効率化やBPRに取り組み、行財政運営の効率化を図ります。

#### (2)データ活用とデジタル人材の育成

- ① 「スマートなまち」を目指し、行政が保有するデータのオープン化や公民連携によるデータ活用に取り組むとともに、分散された様々なシステム等のデータをつないで有効活用できる仕組みである「データ連携基盤」の構築に向けた取組を推進します。
- ② デジタル社会の進展に対応できるよう、専門的な知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決を牽引する外部人材の登用やデジタル人材の育成強化に取り組めます。

## 5 公有財産の適正な管理運用

#### (1)公共施設等総合管理計画に基づく計画的な管理

- ① 公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正な維持管理と長寿命化対策により、財政負担の軽減を図ります。また、持続可能な公共施設等の維持・管理に向けて公共施設等総合管理計画を計画的に見直します。
- ② 公共建築物の建て替えや大規模改修の時期に合わせて、人口構成や市民サービス等の変化を考慮し、施設の存廃、集約化、複合化、多機能化等の検討を行います。

### 関連計画

- 安城市DX推進計画
- 第4次衣浦東部広域行政圏計画
- 第7次安城市行政改革大綱
- 第7次安城市行政改革大綱
- 安城市公共施設等総合管理計画
- 衣浦東部ごみ処理広域化計画
- 安城市公共建築物保全計画
- 安城市PFIガイドライン
- 安城市SDG 6 未来都市計画

### 用語の解説